

the Tokyo  
u-club だより  
〈第2号〉



〈郡山会長挨拶〉

公立大学法人 首都大学東京が運営する、首都大学東京及び産業技術大学院大学（以下「首都大学等」）が日本の高等教育改革のリーダーとして、着実な成果を挙げていることは、本当に嬉しいことです。他大学では類をみない都市教養科目群の履修を始め、情報アーキテクチャ専攻など学内では、数多くの新しい学習が実行されています。また、学生のキャリアプランへの配慮、早期就職活動への支援が実現され、インターン制度も、東京都というすばらしい教育の場の利用が現実になりました。



さらに、大学と地域コミュニティとの交流がオープンユニバーシティなどの活動により推進されています。広報活動も、資料もいままでとは比較にならないほど充実されています。私ども、U-C L U Bがお手伝いしました「意見交換会」もコミュニティとの交流の一環です。大学が地域社会によびかけ、みずから出て行って交換会を催すことは、公立大学ではユニークなことです。

もちろん、現在の活動が十分であるはずはなく、すべての改革、交流は今後加速していかねばならないと考えられます。U-C L U Bは、首都大学東京等が地域コミュニティにいろいろ働きかける際のお手伝いをする目的をもっています。また、都民や都にある団体や企業が首都大学東京等をさらに発展していくための活動ができるよう、そのお手伝いもします。

U-C L U Bへの、皆様の日ごろのご支援に心から御礼申し上げますと同時に、この小さな活動が、さらに伸張し、着実な成果を挙げていくことを期待してやみません。

今後とも、ぜひよろしく、ご鞭撻のほどおねがい申し上げます。

◆「首都大学東京の現状とおよび意見交換会」が開催されました!!

10月28日15時00分から、首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスにおいて開催されました。

月末なにかとお忙しい中、90名に及ぶthe Tokyo U-club 会員および企業の方が参加されました。山中産学公連携センター主任の司会進行の下、高橋宏名誉会長をはじめ各講演者から首都大学東京の現状およびついて熱のこもった講演があり、参加者も熱心に聞き入っていました。

講演会終了後の懇親会においても、参加された皆様から大学改革や研究内容、就職状況等について

詳細・問い合わせ先  
the Tokyo U-club 事務局 早川武男  
電話・FAX：03-5294-9358  
e-mail：u-club@lake.ocn.ne.jp

意見交換がされました。



## < 講演会プログラムと講演概要 >

### 1 首都大学東京大学における大学改革 (講演概要)

首都大学東京 高橋理事長

#### 1. 大学経営の転換期 — 少子高齢化と大学全入時代の到来

少子高齢化の進展に伴い 18 歳人口は、1992 年に比べ 36% 減少し、逆に大学の数は 42% も増えている。これは民間私企業の経済原則とは逆である。こうした社会状況を踏まえ本大学では新入学生を丹念に育て上げて、「少数精鋭化」し社会に貢献する人材を育成していく。

#### 2. 大学の役割と使命

- (1) 「教育」は神聖なる仕事、「教職」は「知と文化」を学生に伝える「聖職」である。
- (2) 教員の任務は良い教育を行って、社会に役立つ人材を送り出す、一方で優れた研究を行って社会に貢献する。したがって耐えざる自己研鑽も求められる。

#### 3. 首都大学東京の目指すもの

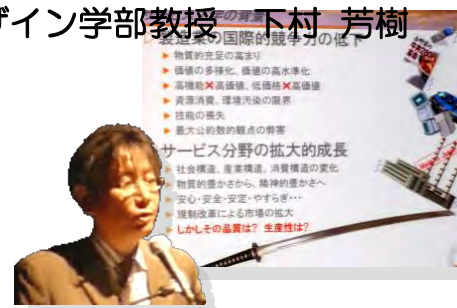
- (1) 新しい時代のニーズに即応した活力のある大学を目指す。
- (2) 「自分の頭で考え、視野の広い、主体的に行動する反骨精神を持った人間」を育てていく。
- (3) 教員の勤務体制  
従来の終身雇用、年功序列型の体制から教員自信の選択制を併用しつつ、任期制・年俸制の導入を取り入れるなどして能力、業績評価による弾力的な昇進の道を開く。



### 2 サービス工学 —ものづくりとことづくりの統合による高付加価値設計— (講演概要)

首都大学東京 システムデザイン学部教授 下村 芳樹

近年、サービスの設計・生産に工学的・科学的なアプローチを適用することにより、その飛躍的な改善を実現することが求められている。従来、曖昧であったサービスに対する顧客満足度をある程度の客観性を担保しつつ評価する方法を供し、質の高いサービスを作り出すことが強く期待されている。本講演では、「顧客の要求する価値を実現するモノ（物理的製品）とコト（行為的製品）の統合的実現手段の提供がサービスである」と定義し、顧客満足度をサービス受給者の状態変化として測定可能とするサービス工学と呼ばれる研究分野について紹介し、その具現化ツールであるサービスCADならびにその適用事例について紹介された。



### 3 就職状況と企業セミナーについて 首都大学東京学生サポートセンター 鬼怒川事務部長 (講演概要)

- 1. 日本経済の持続的な好況を背景に、学生の就職状況は順調に推移してきている。就職率についても平成 17 年 4 月開学時の就職率 92.5% から平成 19 年 3 月では 95.6% と伸びてきている。
- 2. 就職率 100% の達成を目指し、就職課は就職氷河期の苦い経験を活かし学生への就職支援を推進するための大きな柱として (1) 就職に必要な情報提供する。このためには、①就職ガイダンス ②自己分析講座 ③企業・業界研究 ④応募書類作成及び面接講座 (2) 就職相談体制の充実を徹底する。このためには①就職資料室の整備拡充 ②就職カウンセリングの強化に取り組むなど、鋭意対策を進めている。
- 3. こうした就職支援のほか、3 年生を対象としたインターンシップ制を取り入れ、職場経験を通じて、自らの職業観の確立を目指すことを支援している。これらにより、学生の就職先は大手企業を中心にほぼ決まりつつある。



## 懸賞論文実施

平成 11 月 30 日応募締切りとした、下記テーマの論文募集を首都大学東京・都立大学・都立科学技術大学・都立保健科学大学に在籍する学生・院生、および産業技術大学院大学に在籍する院生を対象に実施中

① 大都市東京 10 年後のすがた

② 大都市東京の課題解決のためのコミュニティづくり



# 懸賞論文募集中



平成 11 月 30 日応募締切りとした、下記テーマの論文募集を首都大学東京・都立大学・都立科学技術大学・都立保健科学大学に在籍する学生・院生、および産業技術大学院大学に在籍する院生を対象に実施中。

## テーマ

- ① 大都市東京 10 年後のすがた  
(キーワード：少子高齢化・防災・治安・防犯・救命・情報セキュリティ)
- ② 大都市東京の課題解決のためのコミュニティづくり  
(キーワード：障害者・高齢者・療養者・地域づくり)